

調査研究報告書の要約

分類・テーマ別		分類・業種別			
書名	中小製造業向け機械安全教育プログラムの開発に関する報告書				
発行機関名	一般社団法人 日本機械工業連合会				
発行年	2016年3月	頁数	152頁	識別	

[目次]

本論

1. 背景と目的
2. 開発部会の開催
3. 前年度検討内容のまとめ
4. 機械安全教育プログラムに関する検討
 - 4.1 機械安全教育プログラム平成 27 年度案
 - 4.2 開発部会の検討内容
5. 検討成果
6. 今後の検討課題

[要約]

機械安全に関しては、安全の基本概念から個別機械の安全に至るまでの技術による工学的対策を基本とする考え方が、ISO/IEC 国際標準として体系化されている。欧州から発信されたこの考え方は、今や、北南米、また、中国を含むアジア各諸国にも広がり、機械災害防止の世界的な共通認識となっているが、我が国では、これまで機械を使用する人の作業安全対策を中心に機械災害の防止活動を推進してきたという背景から、十分に浸透していないのが現状である。生産技術の国際競争力を維持する意味でも、機械安全の本質を理解し、生産現場で稼働する機械の安全性確保にどのように繋げるかが重要と思われる。

機械安全の本質を理解し、国際標準の考え方を普及していくためには、企業経営者の理解、社会基盤の整備、教育制度など我が国の現状を踏まえた多くの課題を解決しなければならない。その方策の一つの例が、ISO/TC 199 及び IEC/TC 44 の機械安全規格を基礎とした体系的な教育・研修等のプログラムの検討であり、またこの教育・研修プログラムで使用する機械安全に関する教育・研修材料の開発である。

本調査研究は、これらの作成等を目的とし、平成 27 年度に作成着手した教材の一部を示し、報告書としてまとめたものである。